

至誠

～誠の心で創る
明るく楽しい未来～



一般社団法人飯塚青年会議所
第65代理事長
玉置 一貴

はじめに

1953年7月1日、35名の青年によって設立された一般社団法人飯塚青年会議所(以下、飯塚JC)は本年で創立65周年を迎えます。「明るい豊かな社会の実現」という理想のため、この地域をよりよくしたいという熱い想いは私たち飯塚JCの原点であり、65年という長い年月の間脈々と受け継がれています。

私はこの地域で育ちました。幼少期にはSL機関車のある公園で遊び、夏には市民祭飯塚山笠に参加し人と人との関わりの大切さや礼儀を学び育ってきました。気付けば、飯塚JCの諸先輩方がこれまでこの地域で起こした運動やその歴史に知らず知らずのうちに触れ、そのことは私の人生の大切な思い出や一人の人間として大切なことを学ぶことに繋がります、人生の財産となっています。

「明るい豊かな社会の実現」という理想に近づくことや、この地域をよりよくしていくことは簡単なことではありません。しかし、この地域のために志を立て、自ら行動を起こし運動を展開していくことは、関わる人々の心に私たちの想い描く理想が生産の財産として残ることに繋がっていくと考えます。誰のために、何のために、なぜ行動を起こすのか、この地域にとって必要とされることに真摯に向き合い、議論を重ね、かけがえのない仲間と共に誠の心を持って運動を展開していくことが、この地域のよりよい未来を創っていくことと信じこの一年の第一歩を踏み出します。

創立 65 周年を迎えて

65年という長い年月の間、諸先輩方が展開してきた数々のJC運動はこの地域や人々に多くの財産として残っています。時には目に見えない形として、時には人々の心によき思い出として、この地域の明るい豊かな未来のために泥臭く汗を掻き、ひたむきに突き進んできた証しとしてその歴史は深く刻まれています。今日より5年前、10年前と比較して私たちの取り巻く環境、生活は大きな変化を遂げています。その中、創立65周年の節目の年、JC現役世代である私たちはこの地域の未来のために何をすべきでしょうか。未来を輝かせる子どもたち、これまでこの地域を創ってこられた先人たちの間に生きる、この地域の未来を創る責任世代である私たちが先頭に立ち、失敗を恐れず、やるべきことへの熱い想いをもち、誠の心で事業の展開を行うことが必要であると考えます。

日本の多くの自治体は現在進行している人口減少や高齢化社会に対しその対策を迫られています。地方創生が叫ばれる中、各自治体は定住人口の増加や交流人口が増加することに様々な策を講じています。このことは、私たちの活動エリアである飯塚市・嘉麻市・桂川町も同様です。私たちが暮らすこの地域を明るく楽しい未来のある地域とするためには、地域内外の人々から住みたい、行ってみたい、明るく楽しい地域であるという魅力ある地域ブランドを創っていくことが必要です。地域内外の人々にそのような想いを持ってもらうことは容易なことではありません。しかし、そのことに果敢に挑戦できるのが青年会議所です。私たち飯塚JCが先頭に立ち新しい地域ブランドの創出を行い、地域内外へ発信していくべきです。事業をとおしてこの地域の行政や他団体、住民の心を動かし、この地域の新しい地域ブランド化に向けた大きなうねりを創っていきます。創立65周年の本年、周年記念事業として新しい地域ブランドの創出を飯塚JCメンバー全員で展開して参ります。

リーダー育成と魅力ある組織・JAYCEEを目指して

青年会議所は20歳から40歳までの次代の担い手たる責任を持った青年の団体であり、修練・奉仕・友情の三信条のもと日々の活動を行っています。青年会議所は大人の学び舎ともいわれ、会社や地域のリーダーとして活躍していく人財を多く育成していくことも目的の一つです。飯塚JCに所属するメンバー全員が互いの成長の過程で人間力を磨き、魅力あるリーダーの資質を高めていくことが必要です。仲間に見せ、支え合い、覚悟を持って挑戦することで魅力あるリーダーへと成長することは、この地域で生きる私たちの使命であり、快くJCへと送り出してくれる会社や家族に対する責務でもあります。私たち飯塚JCは、近年100名を超えるメンバーが在籍する組織となりました。メンバー数の増加は、それだけ多くの仲間と議論する場があり、自己成長の機会が増えるという最大の魅力があります。メンバー数が増えたからこそ、組織としての一体感を高め、魅力的な組織にしていきます。飯塚JCの礎となるのはメンバー一人ひとりで、さらに魅力的な組織となるため「魅力あるJAYCEEの開発」を行います。そのために、メンバー間の交流や研修をとおして誠の心の大切さを学び、青年会議所活動に積極的に関わることが自己の成長に繋がるということに意義を見出し、時には仲間と汗を流し、時には仲間が自らを磨くライバルとして切磋琢磨することが必要です。また、飯塚JCが65年の歴史の中でこの地域に残してきた功績やその根底に流れるJC魂をメンバー全員が共有し、飯塚JCの一員であることに自覚と誇りを持つことが必要です。「魅力あるJAYCEEの開発」を行う

基本方針

- ・地域ブランドを創出する65周年記念事業
- ・飯塚JC全体で取り組む会員拡大
- ・リーダーとなるための人間力向上を重視した参加意識の高まる例会運営
- ・魅力あるJAYCEEの開発
- ・関わる人々のまちづくりへの意識を高める地域交流事業
- ・第二のふるさと創造事業

ことで、飯塚JCの一体感はいくらも以上のもになり、組織としての魅力はさらに高まるものと確信致します。組織の魅力を高めることで、この地域にとって今まで以上に必要とされる飯塚JCへと変えていきます。

また、本年は15名のメンバーが卒業を迎え、次年度以降も多くのメンバーが飯塚JCを卒業する予定であり、このままでは飯塚JCのメンバー数は大きく減少してしまいます。自己成長の機会を創っていくためにも、私たちが飯塚JCにとって会員拡大に取り組むことは最も重要な課題の一つです。飯塚JCのこれからを創るために、本年は飯塚JCのメンバー全員の力を活かして一人でも多くの新入会員の獲得を行い、青年会議所活動や運動をとおして新入会員の育成に取り組んで参ります。

関わりから創るまちづくり

これまで私たち飯塚JCは地域行政、他団体、多くの地域住民の方々と情報交換を図り事業を展開してきました。まちづくりとは、この地域に関わる多様な立場の人々が、継続的な活動をとおして、明るく楽しい未来を創造していくことです。この地域にある問題や課題に真剣に向き合い、それぞれの立場で共に解決策を模索していく中で、私たちは関わる人々のまちづくりへの意識を高めていく必要があります。本年度も地域行政や他団体、地域住民の方々と連携を図り、今まで以上の信頼関係を深め、関わる人々のまちづくりへの意識を高める事業を展開して参ります。

また、この地域には近畿大学と近畿大学九州短期大学、九州工業大学の3つの大学があります。近畿大学は1966年に、九州工業大学は1986年にこの地域に設立され、現在では約4,200名もの学生が学んでいます。その学生の多くは地域外から進学のために私たちの暮らすこの地域へと移り住んでいます。しかし、私たちはどれ程学生との交流を図っているでしょうか。私たちが誠の心で学生と交流を図り、この地域への愛着を感じてもらうことは、学生にとってこの地域が住みやすい場所となり、この地域と学生との生涯の繋がりを創るものと考えます。私たちが学生やこの地域の人々と交流を図り、学生がこの地域や人に魅力を感じ、学生時代を過ごしたよき思い出として、さらにはこの地域を第二のふるさととして感じてもらえる事業を展開して参ります。

青年経済人である私たちが、まちづくりのために地域行政や他団体、地域住民、学生と誠の心で積極的に交流を図り、連携を深めていくことは、相互の信頼関係を築いていくことに繋がります。飯塚JCがこの地域の中でさらに必要とされる団体になるものと確信致します。

未来へと繋ぐひとつづくり

この地域の10年後、20年後を輝かせるのは、今この時代を生きる子どもたちです。子どもたちが次代を担える人財として成長していくことは私たち青年としての責務です。私は幼少の頃、地域の方々から挨拶や礼儀を教わり、時には叱られ、暖かく見守られていた。ありがたい想いがあります。またその感謝の想いが、この地域の未来のために自ら行動を起こす源泉になっています。本年は、子どもたちが多くの人や物事と関わりを持つ中で、自分が周りの多くの人々に支えられていることに気付くことができる事業を展開して参ります。それにより生まれる感謝の心は、子どもたちが関わってきた人や物事に誠実に向き合うことに繋がります。その姿勢はこの地域の明るく楽しい未来への人財育成になるものと確信致します。

より効果的な広報活動を目指して

私たちは、この地域の未来のことを考え事業を展開し、地域内外の多くの人々へと広報活動を行っています。広報活動は、私たちが青年会議所活動、また事業を展開する中でこの地域への想いを多くの人々に知ってもらい、関わる人々の心を動かし、地域を活性化させるために必要な活動です。近年、飯塚JCは効果的な広報活動を行うために広報基本ツールを作成し、インターネット、SNSを媒体として多くの人々へと情報を発信できる環境が整ってきていますが、発信力を高めることで、私たちの想いをさらに浸透させていけると考えます。広報基本ツールを更に活用できるものとし、インターネット、SNSは閲覧者を増やし発信力を高めていきます。また、広報メディア関係の方々と交流を図り、飯塚JCへの理解を深め、今後の広報活動が効果的にいける関係を確立していきます。発信力を高め、広報活動をより効果的に行うことで、私たちの想いを多くの人々に届けこの地域の活性化を加速させていきます。

おわりに

「明るい豊かな社会」とは、この地域に住む人々が心の豊かさを実感し、明るく楽しい生活ができることだと考えています。その未来を切り拓くために、私たちはできることだけをするのではなく、青年らしく失敗を恐れることなく挑戦していく必要があります。

私は青年会議所という組織と仲間に出会ったこと心から感謝しています。私が入会して8年、青年会議所でこれまで培ってきた経験、切磋琢磨した多くの仲間は私の生涯の財産です。私がJC運動をとおして最も学んだことは、何かの事を成すにあたり、自らが熱い想いをもち、誠実に行動しなければ人やその心は動かないということです。私たちがメンバーや人々と関わり合い、理解を求めるとき、私たちの嘘偽りのない誠意が伝わってはじめてその想いを理解してもらうことができます。誠の心をもってすれば、人やその心は必ず動かすことができるのです。

「至誠にして動かざる者は、未だこれ有らざるなり」

「誠を尽くせば、人は必ず心動かされる」という先人の言葉です。私たちが展開するJC運動には、未来への熱い想いがあります。この熱い想いを胸に誠の心を持って行動し、メンバーや多くの人々の心を動かし、飯塚JCやこの地域の未来を明るく楽しいものにしていきます。かけがえのない仲間と共に、この地域の未来の光を想い、「至誠」を一年のスローガンとし、創立65周年であるこの一年を青年らしく、明るく楽しいものにしていくよう邁進して参ります。

- ・青少年育成事業
- ・より効果的な広報活動ができる環境の構築
- ・飯塚JC全体で取り組む山笠運営
- ・台東国際青年商会との継続的な国際交流
- ・新春祝賀会、創立65周年記念祝賀会、忘年会の運営

VOICE



Junior Chamber International
IIZUKA NEWS vol.63

65th anniversary

一般社団法人 飯塚青年会議所
THE VOICE

2018年度 理事長所信

2018年度 会員紹介

URL <http://www.iizuka-jc.com/>

Facebook <http://www.facebook.com/iizukajc>

65周年特別室

室長
井上 敬介
(有)マイルド薬局
H26年入会

我々が住むこのまちは2020年にはパラリンピックの南アフリカ車いすテニス団の誘致も決まり、国際車いすテニス大会などソフト面が充実しています。ハード面の整備も進み、このまちのスポーツの気運が高まる中、我々飯塚JCがこのまちにスポーツのまちという印象を与える事業を行います。住民にスポーツをより身近に感じていただくとともに、スポーツによるこのまちの発展の可能性を感じていただきます。スポーツの力で独自の地域ブランドを誕生させ、このまちの活気を取り戻し行きたいまち・住みたいまちの創造をしていきます。

副室長 樺島 玄陽 龍王ガス(株) H23年入会	宇都宮直崇 眞祖八幡宮 H24年入会	小田 裕亮 (有)明豊舗道 H29年入会	加藤謙太郎 ロケット石炭(株) H26年入会
小松佳弘 (株)パーソナル・ガラス・アイックス H23年入会	齊藤壮史 (株)社・緑土環境 H22年入会	崎村 豊 崎村組 H24年入会	多賀谷勇氣 (株)多賀谷建設 H21年入会
前山剛哉 前山産業 H29年入会	村山一成 (株)幸信 H29年入会	吉原正和 (株)愛和不動産 H27年入会	

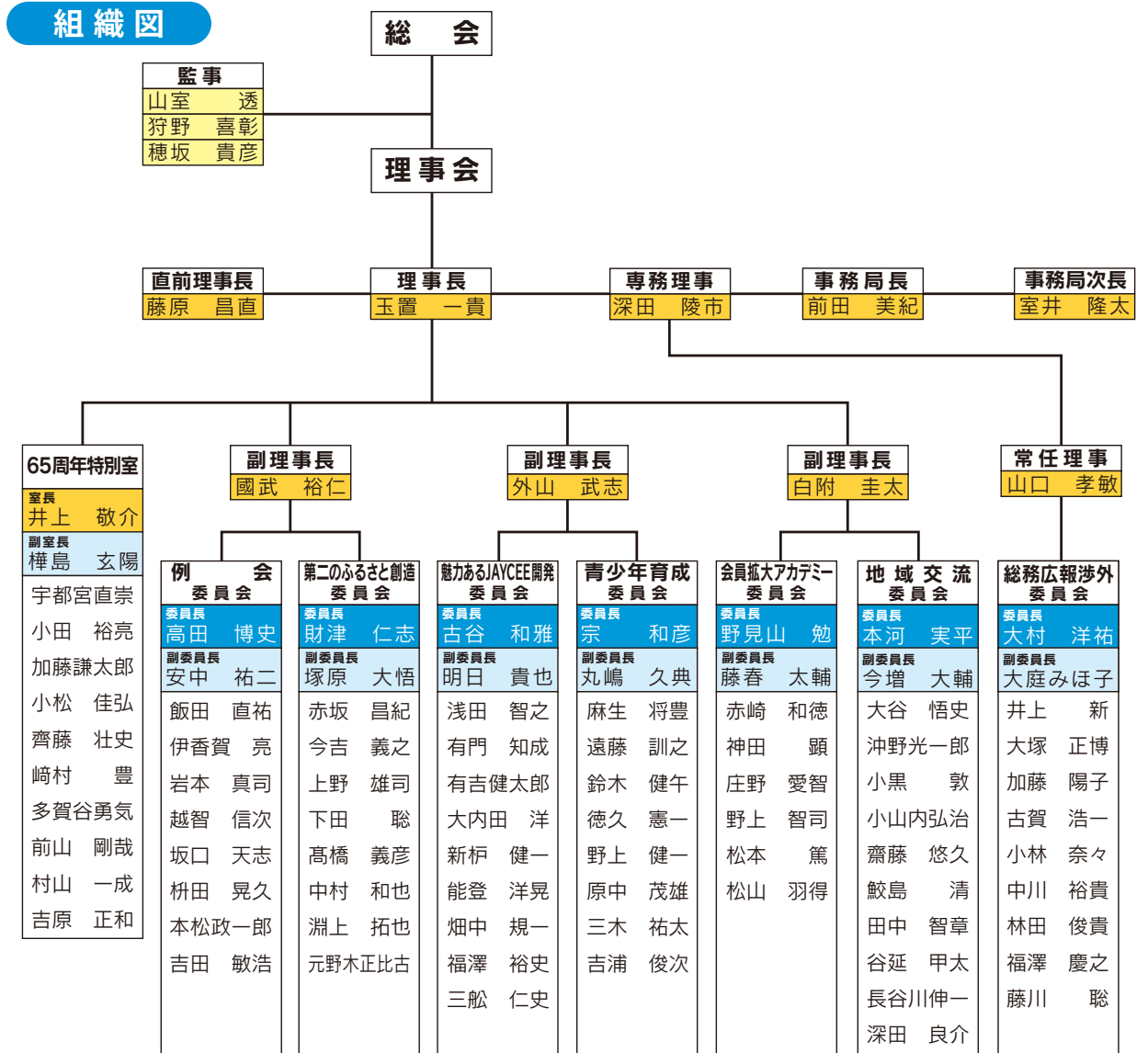
例会委員会

委員長
高田 博史
(有)高田工業所
H25年入会

本年度、例会においては人間力の溢れる魅力あるリーダーとしての成長する機会を構築していきます。飯塚JCメンバーがお互いを今以上に知り合うことで、全員が飯塚JCの家族であると思えるように、『至誠』のテーマのもと、熱い想いをもって例会メンバーで一致団結し一年間邁進してまいります。

副委員長 安中 祐二 (株)アイビーメテカール H27年入会	飯田直祐 ベースボール整骨院 H29年入会	伊香賀亮 オフィスイコウガ H25年入会	岩本真司 (有)サキオ H26年入会
越智信次 (株)サンヨー建材工業 H27年入会	坂口天志 (株)飯塚電設 H21年入会	柘田晃久 柘田法律事務所 H26年入会	本松政一郎 社会福祉法人 暁陽福祉会 三愛園 H25年入会
吉田敏浩 筑豊印刷(株) H26年入会			

組織図



会員数：96名

理事長 玉置 一貴 (株)玉置 H23年入会	直前理事長 藤原 昌直 (有)嘉穂園芸 H16年入会	副理事長 国武 裕仁 (有)システムハウジングタイセイ H15年入会	副理事長 外山 武志 (株)KMG H21年入会	副理事長 白附 圭太 (株)ケイターズ H26年入会
専務理事 深田 陵市 (有)南星観光 H18年入会	常任理事 山口 孝敏 写真の和光 H23年入会	事務局長 前田 美紀 (株)ニッソー H27年入会	事務局次長 室井 隆太 ミンクルプロダクツ(株) H27年入会	
監事 山室 透 親和塗料 H16年入会	監事 狩野 喜彰 (有)かの住建 H21年入会	監事 穂坂 貴彦 農事組合法人 穂坂牧場 H23年入会		

青少年育成委員会

委員長
宗 和彦
やしま整骨院
H23年入会

青少年育成委員会の委員長を受けるにあたり、過去行われてきた事業を振り返りました。65年の歴史の中で、多くの青少年育成事業が行われ、見れば見るほど、多大なる重責を感じるようになり、先輩方の残してきた功績の偉大さを感じました。

本年度は、「至誠」のスローガンの下、私自身、誠の心を持って子どもたちと触れ合うことで、次世代を担う人材育成を精一杯おこないたいと思います。

副委員長
丸嶋久典
(株)親和園
H29年入会

麻生将豊
麻生商事(株)
H23年入会

遠藤訓之
親和電設工業(株)
H26年入会

鈴木健午
(株)東和コーポレーション
H29年入会

徳久憲一
(株)福岡銀行
H28年入会

野上健一
居酒屋バルHola
H21年入会

原中茂雄
(株)KRC
H23年入会

三木祐太
筑前庵
H21年入会

吉浦俊次
(株)ヨシウラ
H28年入会

第二のふるさと創造委員会

委員長
財津仁志
(合)内橋商店 山田饅頭本舗
H26年入会

この地域には3つの大学があり、約4200名の学生が学んでいます。そのほとんどの学生が卒業後この街に残らないという現状があります。その原因の一つとして、この地域の魅力に触れず、気付かないからだと考えられます。

そこで、第二のふるさと創造委員会では、大学生と共にこの街の、人、祭、風景にふれる時を共有し、街について深く考え合うことでこの街に愛着もってもらい、生涯の繋がりをもち、地域の発展に繋げていきます。

副委員長
塚原大悟
(有)めがねのツカハラ
H23年入会

赤坂昌紀
(株)緑親園
H20年入会

今吉義之
(株)パーソナルネット
H21年入会

上野雄司
舞鶴設備工業(株)
H26年入会

下田 聡
西日本シティ銀行 飯塚支店
H29年入会

高橋義彦
(学)嶋田学園 飯塚高等学校
H27年入会

中村和也
福岡クリエイション開発(有)
H20年入会

淵上拓也
バームハウス
H21年入会

元野木正比古
(株)元野木書店
H29年入会

会員拡大アカデミー委員会

委員長
野見山 勉
(株)グリュックス
H25年入会

今後のJC運動をより良いものへと発展させ「明るい豊かな社会の実現」に近づくために、一人でも多くの仲間を迎え入れる活動を積極的に行ってまいります。そして、入会したアカデミーメンバー自らが主体となり事業を成し遂げることで得た経験が、今後のJC活動やJC運動に良い影響をもたらす、この地域を明るく楽しい未来へ導いてくれる人財へと成長していけるよう一年間邁進してまいります。

副委員長
藤春太輔
光和建设(株)
H28年入会

赤崎和徳
赤崎牛
H29年入会

神田 顕
(株)南風堂
H21年入会

庄野愛智
(株)一輝
H27年入会

野上智司
(株)のがみ組
H22年入会

松本 篤
松本電気管理事務所
H28年入会

松山羽得
(有)庄内衛生舎
H28年入会

魅力あるJAYCEE開発委員会

委員長
古谷和雅
(株)古谷金物店
H23年入会

魅力あるJAYCEE開発委員会ではメンバー間の接する機会を増やし、メンバー間の交流や研修をとおり、人を思い、助けあいができる状況を作り出し、仲間との絆を深めることがより強い信頼関係で結ばれた飯塚JCにつながることを信じ、本年度のスローガンである「至誠」の下、仲間と積極的に関わっていき全力で魅力あるJAYCEE開発を行っていきます。

副委員長
明日貴也
GLEAN-LIFE(株)
H26年入会

浅田智之
ダイワ印刷(株)
H24年入会

有門知成
酒屋 有門亭
H28年入会

有吉健太郎
(株)筑豊調味
H25年入会

大内田 洋
(株)ライムワークス
H28年入会

新栞健一
メットライフアリコ生命保険(株)
H25年入会

能登洋晃
(有)かいた環境開発工業
H28年入会

畑中規一
(有)荒木食品産業
H15年入会

福澤裕史
Rudies Cafe-Rico Grill
H27年入会

三船仁史
(有)末廣
H26年入会

新会員紹介



下田 聡

H29年度青年会議所の活動に参加させて頂いて普段経験がすることがない活動を通して、多くの人と知り合う機会ができるだけでなく、物事への考え方・取組み方等、自分の変化というものを感じ取れるようになってきたように思います。青年会議所は様々な活動を通して色々な成長をすることができる絶好の場所だと思います。今後も積極的に活動に参加していきたいと思っています。



丸嶋 久典

JC に入会して、こんなに熱心に地域と向き合っている団体があるんだと実感しました。これからも JC を通じて地域の魅力、可能性を沢山の仲間達と一緒に作って行きたいと思っています。



藤川 聡

7月に正会員となり、台東 JC の来日、婚活、サイエンス、デザート市と忙しい日々でした。みんな、仕事をしながら頑張って、やりとげたあとの達成感、とても良いものでした。これからも JC 活動を頑張りたいと思います。



田中 智章

JC に入会させて頂いてから、他業種の方々と接する機会をたくさん得ることが出来るようになりました。色々な活動や事業を通して自分自身が成長できたと思います。



大谷 悟史

約半年間青年会議所の会員として、活動させていただき、人と人の繋がりが、いかに大切かを学ばせていただきました。これをモットーにこれからの活動に活かしていきたいと思っています。



鈴木 健午

JC に入会して、飯塚の街と触れ合い4ヶ月になりました。最初は何も分からない状態からスタートし、メンバーと共に室会や事業、例会に参加するうちに自然と飯塚 JC への愛着がわいてきました。来年からは子供と触れあうことが多くなります。子供達に、飯塚の代表として恥ずかしくないような姿がみせられるよう全力で活動したいと考えています。宜しくお願いします。



村山 一成

JC に入会させて頂き多くのメンバーの方々と出会う事が出来自分自身の成長に繋がっています。後三年間という短い間で精一杯頑張りたいと思います。



前山 剛哉

同じ世代の青年会議所の方々とのお会いや、様々な事業に参加することで、地域に対する想いも強くなり、色々な物の考え方に触れ、多くの学びがあったと思います。これからも様々な人との出会いの中で、自己を成長していければと思います。



飯田 直祐

仕事が忙しくなかなか時間がなくあまり事業など参加出来てないですが、飯塚市の地域の為に活動されている先輩方の姿を見て凄く感動したので、自分も何かしら地域に貢献出来るよう努めて参ります。



鮫島 清

仕事を抱えながらの青年会議所での活動は大変ですが、この経験が自己の成長へと繋がっていると一年間活動して実感しています。



小田 裕亮

自分は準会員中に事業の真っ只中で右も左も分からない状態で飛び込みましたが、事業に取り組む皆さんの姿に感激しました。緊密な段取りが成功に繋がる事を改めて感じました。また正会員にならしていただいたので、これからも皆さんと頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。



小山内 弘治

準会員から半月になりましたが、自分達の事業や、他の委員会の事業にも参加させてもらい、色々学ばせていただいた事をいかに、これから卒業まで、JC 活動を頑張っていきたいと思います。



赤崎 和徳

理事会、委員会に準会員の時に参加させて頂いたときに、自ら熱い思いをもって行動することにより、新しい道ができるということを感じました。熱い気持ちを忘れずに頑張っていきたいと思っています。



元野木 正比古

飯塚を盛り上げたいという強い気持ちで行動し成功させる経験ができました。仲間と一緒に、やる気!元氣!元野木!で頑張ります。

一般社団法人 飯塚青年会議所 会員募集中

青年会議所は20歳から40歳までの情熱ある青年の団体です。



飯塚JCホームページはこちら!



飯塚JCフェイスブックはこちら!

地域交流委員会



委員長
本河 実平
(株)本河住建
H26年入会

地域交流委員会は行政や他団体、地域の人々と共にこのまちの魅力を考え事業構築していきます。この地域に存在する魅力を集め、他の地域からより多くのひとを呼び込み、このまちの魅力に触れる機会を作ると共に、対外に発信していくことによってこのまちをもっと周知できると考えます。熱い思いをもつ様々な人たちが繋がることで、この地域の人々の心を動かし、ひいてはまちの活性に繋がっていくことと確信し、一年間邁進していきます。



副委員長
今増 大輔
(有)東進
H26年入会



大谷 悟史
大谷組
H29年入会



沖野 光一郎
NEXT INNOVATION
H26年入会



小黒 敦
小黒食堂
H28年入会



小山内 弘治
小山内工業
H29年入会



齋藤 悠久
(株)グリーンロード
H26年入会



鮫島 清
あかね合同土地家屋調査士事務所
H29年入会



田中 智章
ダイニングバーダブル
H29年入会



谷延 甲太
居酒屋 すけはち
H27年入会



長谷川 伸一
(株)ワーキングハセガワ
H24年入会



深田 良介
(株)深田環境開発工業
H26年入会

総務広報渉外委員会



委員長
大村 洋祐
(有)日本パボルナ
H26年入会

私たち飯塚JCメンバーは、この地域に対して熱い思いを抱き、互いに切磋琢磨しあい活動を行っています。今年度の総務広報渉外委員会は、その思いや活動を、より多く地域の方々に知ってもらい、より飯塚JCを理解していただけるように、SNSやホームページを活用し情報を発信していきます。また、地域の方々に、理解、共感、信頼をしていただけるように、活動内容をわかりやすく知ってもらうための事業を計画しています。それにより、飯塚JCの発信する運動の効果が高まり、多くの方々の意識の変革をもたらし、さらには、明るい豊かな社会の実現に繋がるように一年間邁進してまいります。



副委員長
大庭 みほ子
(株)コスモハウス aruk-ある暮らし
H28年入会



井上 新
ドライアイス 筑豊(有)
H27年入会



大塚 正博
(株)三信ビル管理
H20年入会



加藤 陽子
(株)福岡カホスインスクール
H21年入会



古賀 浩一
(有)セントコーポレーション
H22年入会



小林 奈々
ビップエコー飯塚店
H27年入会



中川 裕貴
中川証券 アドバイザー(株)
H26年入会



林田 俊貴
アストル税理士法人 福岡支店
H27年入会



福澤 慶之
上嘉穂貨物自動車運送(株)
H19年入会



藤川 聡
藤川自動車(株)
H29年入会

卒業生ヴォイス



田邊 拓司

JCCに入会して通常の生活の中では味わうことの出来ない沢山の事を経験させてもらいました。また、JCC活動を通して多くの方々に出会えたことは私の財産となりました。入会年数は長い方ではありませんでしたが非常に実のあるJCC生活でした。



寺濱 剛史

2009年に入会させていただき、在籍9年のJCC生活を送らせていただきました。入会から卒業まで、様々なご縁と経験をさせていただき、今の自分があり今後の仕事に活かしていきたいと感じています。何事にもチャレンジし、今後の生活に役立てていかせてもらいます。9年間、本当にありがとうございました。



藤田 光司

5年間あつという間のJCC生活でしたが、さまざまな役職を経験することで多くの学びや気づきを得ることができたし、その中でたくさんの方に出会いがあり、多くの友人を作ることが出来たのもJCCのおかげだと思います。本当に貴重な経験が出来たJCC、ありがとうございました。



長岡 敦史

私のJCC活動は消極的なものでした。今考えたら一つの事業でこんなに多くの事を学べる場所はないとさえ、今思えばもったいないことをしたなと思います。現役メンバーの方々は積極的にJCC活動に参加していただき、たのしいJCCライフを過ごして下さい。



西竜 太郎

僕はJCCに入って多くのモノを失いましたが、それ以上にたくさんのものであることが出来ました。入会13年入ってよかったと思つて、卒業します。現役の皆さんこれからも頑張ってください。そしてまた仲良くしましょう。



西川 耕司

青年会議所に参加させてもらい、全メンバーが理想を共有しこの地域のために議論し行動していくことに大変勉強になり、自分自身も成長することができました。今後この経験を糧にして日々邁進して行きま。サッカー部は最高でした。



濱本 誠二

青年会議所は成長させてくれる仲間がいます。多くのメンバーの意見や考えを聞き共に行動出来た事は私自身の大きな成長に繋がったと思います。しかしながら自分自身も望んで行動しなければ成長は得られません。一歩踏み出していない現役メンバーの皆さん頑張れ!!最後に約7年間一緒に活動して頂いた皆様、有難うございました。



福田 祐一

青年会議所に入会して他業種の方々との出会い共に社会人として成長できる機会を頂きました。今後卒業しても、様々な困難があると思いますが、青年会議所で学んだことを生かし今後につなげていきたいと感じます。



弓削 尚和

在籍中は沢山のメンバーやシニア、また、多くの地域の方々に支えられ、楽しいJCCライフを過ごさせていただきました。感謝しています。飯塚青年会議所を卒業しますが、ここで培ったものをしっかりと活かし社会に貢献していけるように努力していくことが大事なことだと思っていますので、今後とも宜しくお願いします。

卒業生ヴォイス



有光 弘好

飯塚青年会議所に約9年間在籍をしまして、今年をもって卒業することになりました。出席率も低かったのですが、その中でも貴重な経験もさせて頂き、たくさんの方にも出会うことが出来ました。ほんとに感謝しております。



今村 太郎

「大丈夫サラリーマンでもJCCは出来る」これが4年間、飯塚青年会議所に在籍していた結論である。飯塚青年会議所にはサラリーマンを受け入れてくれる基盤と人材があり、入会当初家庭仕事とJCCの両立は難しいと考えていた不安が解消されました。4年間様々な職種の方と出会い充実した時間を過ごせることが出来ました。入会を後押ししてくれた会社や支えてくれた家族、入会を受け入れてくれた飯塚青年会議所のメンバーには大変感謝しています。ありがとうございました。



江藤 裕仁

32歳で入会して8年・・・いざそのメンバーとしての活動を振り返ってみると、我がJCC回顧録ほぼ無に等しかった。ただそれは、意味がなかったという事ではなく、他県出身の自分にとって、交わる事のなかった「強く熱い脈」を知り得たことが何よりの財産となりました。厚謝



大崎 善之助

生まれ育った広島からここ飯塚の地に移り住み同世代の知り合いがほとんどいない状態からJCCに入会することによって良き仲間ができました。その仲間から色々な気づきなどをあたえてもらい本当に感謝しています。JCCは卒業しますが、これからも大切な仲間でありたいです。



岡部 稔

卒業にあたり思い返してみると、11年の在籍期間は本当に充実していました。最初はいやいや参加していたJCCでしたが、事業に参画し、仲間ができて、徐々に参加する事が楽しくなっていました。それと自分自身が本当に忙しくなっていました。助けてくれたり励ましてくれる仲間が本当にJCCは最高です。



奥野 敬之

「飯塚JCCに2011年に入会して、約7年、この7年間は私にとって大きなことでも大切な時間となりました。JCC活動を通じて、組織力の大切さ、組織の仕組み、組織のあり方なども多く勉強させていただきました。職種・役職と、立場は違えどメンバーみんなが協力し合い、成し遂げる姿をたくさん観てきました。私は人と人とのつながりの大切さを多く学んだ7年間、貴重な7年間でした。この7年間は感謝が溢れます。皆さん本当にありがとうございました。



岸田 貴靖

私はサラリーマンという立場で14年間のJCC生活を送らせてもらいました。仕事との両立は非常に難しいものがあり大変だったけれどそれ以上に多くの仲間と知り合えたことが私にとっての財産となりました。色々とお難うございました。



木村 幸道

卒業にあたり育ててくれたメンバーに感謝いたします。委員長も経験し、多くの気づきを得ました。まちづくりひとつくりを若い世代で熱く語り合えた時間は、大いなる財産です。卒業出来てよかった。今後活動を送る方々は今できる精いっぱいやり遂げてほしい。



久保田 委美

飯塚青年会議所での活動を通して、多くのことを学び、経験することができました。さまざまな業種の皆さんとの活動を通して、新たな視点や考え方に触れることができて、とても刺激を受けました。今後はこの経験を自身の業務にも活かしていきたいと思つています。お世話になりました。



清水 幸浩

11年のJCC生活を一言で表すと感謝の一言です。異業種の色んな考えを持った方々との出会いは、私の人生を向上させてくれました。JCCを卒業しますが、貴重な経験を活かしこれからも邁進していきます。



高橋 祐介

私が勤務する飯塚信用金庫の企業理念は、単に利益のみを追求するだけでなく地域と調和し、地域の信頼に込めることのできる金融機関を目指している。これは青年会議所の理念に近く、相通じるものがあると思つています。実際は大きくかけ離れたものであった。青年会議所のメンバーは個人の思いはあれど、地域・地域の人々に全く見返りを求めない。単に地域を思い活動するメンバーであった。素晴らしい人との出会いは私の財産になりました。現役の皆さんは青年卒業です。この素晴らしい団体に所属できる時間は限られていきます。頑張つて地域のために活動を送ってください。ありがとうございました。



武田 孔明

3年間と短い期間でありましたが青年会議所にサラリーマンの立場で入会所属しました。経営者の方々がほとんどでありましたが、この活動を通してたくさんの方々に出逢えたことがとてもプラスになりました。また、時間の使い方や目標を持つて様々なことに挑戦することを学ぶことが、貴重な時間となりました。

青年会議所(JC)は“明るく豊かな社会”の実現を理想とし、時代の担い手たる責任を持った20歳から40歳までの、指導者たらんとする青年の団体です。私たちは現在、国内697余りの都市に約36,500人の会員を擁し、全世界130カ国の国及び地域に活動拠点があります。

青年会議所の事業目的は“社会と人間の開発”です。私たちは市民社会の一員として、市民の共感を求めて社会開発計画に基づいた活動を行い、「自由」を基調とした民主的な指導能力の開発を推し進めています。

(一社)飯塚青年会議所は、あなたの力を求めています!

対象者：飯塚市、嘉麻市、桂川町に住所または勤務地を有する20歳から37歳までの健全な方であれば男女は問いません。詳しくは下記(一社)飯塚青年会議所事務局までお問い合わせください。

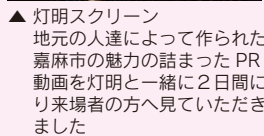
お問合わせ先 〒820-0017 福岡県飯塚市菰田西3丁目18-11 TEL0948-23-0292 FAX0948-24-3471
E-mail:info@iizuka-jc.com URL http://www.iizuka-jc.com/ 《2017年度 総務広報渉外委員会製作》

まちづくり委員会

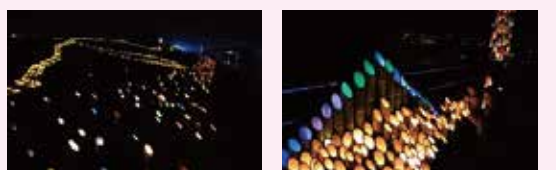
本年度のまちづくり委員会では嘉麻市に注目し今の嘉麻市に存在する魅力を地元で生活をする人々に再度認識してもらい地元の魅力を誇りと感じて生活できるような事業展開を行いました。地元の祭りや家族や仲間と楽しむ時間を過ごすことにより生まれてくる郷土愛こそが今後のまちの発展へと繋がると信じて日中は子供たちに遠賀川の原水地と称される地元の川が遊び場として認識があるのか、現状綺麗と感じるのか、河に触れ遊びを通じて感じてもらいました。夜間は嘉麻市の誇りとなる日本山岳遺産に認定された嘉麻アルプスをデザインした灯明を作成しフィナーレに花火大会を行い多くの人達に有効活用されなかった場所に来場していただき灯明や嘉麻市の魅力をPR動画で伝え今後のまちの発展の可能性を示すことに繋がる事業が出来ました。



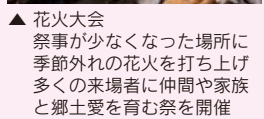
▲ウォータボール、カヌー▲
川遊び体験にて遠賀川の原水地である地元の川の現状を知ってもらいました。



▲灯明スクリーン
地元の人達によって作られた嘉麻市の魅力を詰まったPR動画を灯明と一緒に2日間に来場者の方へ見ていただきました



▲灯明
3000本以上の竹を使って嘉麻アルプスをイメージした灯明祭を開催



▲花火大会
祭事が少なくなった場所に季節外れの花火を打ち上げ多くの来場者に仲間や家族と郷土愛を育む祭を開催

- 《一年間の活動》
- 1月 初委員会を開き事業内容を協議
 - 2月 事業場所を嘉麻市と決定
 - 3月 嘉麻市の魅力や施設を調査
 - 4月 飲食店を回り事業場所に調査
 - 5月 事業内容をもう一度協議し内容を変更
 - 6月 もう一度嘉麻市と向き合い存在する魅力と有効活用されない施設などを調査
 - 7月 他の地域の祭に参加して事業内容の構築する
 - 8月 花火大会の申請を始め運営方法を協議
 - 9月 反対者の人達と何度も協議し話し合い灯明に使う竹を回収
 - 10月 灯明に使う竹の清掃と色塗り替え
 - 11月 事業当日
 - 12月 嘉麻ふれあい祭報告会にて事業報告

地域イベント活性化委員会

7月15日に行われる福岡県の山笠といえば誰しもが博多祇園山笠を思い浮かべるのではないのでしょうか。以前は飯塚山笠も飯塚祇園山笠であったため神事としての意識が高く残っています。しかし、現状は市民祭飯塚山笠であり、その名の通り祇園ではなく市民祭であります。昇き手と来場者という市民が如何に楽しめるようにするのかという意識を持たなくてはなりません。その中で今回行った事業は、昇き手以外の来場者も楽しみ、参加することができました。来場者が盛り上がるにより昇き手の活力も自然と湧いてくる、昇き手が盛り上がる来場者もより活気が出る今回の事業は相乗効果を生みました。事業後の市民の声やアンケートも、固定観念に縛られず臨機応変に時代の変化に対応していくことも大切という結果を頂けましたので、この地域社会の意識という分野で変化をもたらせることが出来たと感じます。



▲事業終了後の深田委員長と弓削副委員長 弓削副委員長！「ありがとう！」
▲飯塚山笠 閉会式運営



▲飯塚山笠 プロジェクター演出
▲飯塚山笠フードフェスタ会場

- 《一年間の活動》
- 1月 田川J.C新春祝賀会に出席
 - 2月 飯塚山笠 西流・新流・東流 新年会に出席
 - 3月 委員会メンバー交流ゴルフコンへの開催
 - 4月 飯塚山笠振興会
 - 5月 5流代表者会議に参加
 - 6月 福岡ブロック大会に出席
 - 7月 飯塚山笠 お夕いりに参加
 - 8月 九州地区大会に出席
 - 9月 委員会メンバー交流ゴルフコンへの開催
 - 10月 全国大会に出席
 - 11月 ジャガイモ会、卒業コンパに参加
 - 12月 飯塚青年会議所 忘年会に出席

地域交流委員会

体験者説明会で事前登録が4件、その他6名程度参加する予定でしたが、2名の参加となりました。実際に企業を選定し、職場体験を行った高齢者は1名となり残念な結果となりました。しかし、その職場体験者の1名は今まで働いた業種ではなく、3日間の体験ではありましたが、慣れない業務を2日中行っていた。結果的にマッチングは不成立でしたが、その後アンケートでは、地域企業の幅が広がったという回答でした。その後、各行政にその結果を報告した分と企業・高齢者の意識調査のアンケートを行いました。また、この地域の企業の人手不足の現状と高齢者の雇用への意識も報告することでそれぞれが困っている現状を理解して頂きました。

2市1町の行政は、当委員会が行った活動で地域企業の人手不足の現状、今後の高齢者雇用の在り方など考えていただくきっかけとなったのではないかと感じています。10年後、20年後には高齢者の人口もさらに増加する傾向にあります。そういった意味では今回の取り組みは地域活性化の一助になったのではないかと思います。



▲ 10月16日体験者説明会を実施
▲ 体験者説明会の説明風景



▲ 10月31日～11月2日の3日間、ロケット石鹸株式会社にて職場体験を実施
▲ 11月10日 報告会

- 《一年間の活動》
- 1月 事業構築
 - 2月
 - 3月
 - 4月
 - 5月 行政との事業構築
 - 6月
 - 7月 創立64周年記念式典
 - 8月 行政との事業構築
 - 9月
 - 10月 体験者説明会・職場体験実施
 - 11月 報告会実施



▲ 10.13 道徳授業
▲ 10.17 保健所見学



▲ 10.25 日本レスキュー協会体験授業
▲ 11.6 交流会

- 《一年間の活動》
- 2月 市長及び教育委員会に事業プレゼン
 - 3月 日本レスキュー協会 訪問(兵庫県)
 - 4月 東部動物愛護管理センター 訪問(福岡市)
 - 5月 椋本小学校訪問、事業プレゼン
 - 6月 創立記念映像制作
 - 7月 創立64周年記念式典
 - 8月 椋本小学校担任との東部動物愛護管理センター訪問
 - 9月 まちづくり委員会 事業前決起大会
 - 10月 わんLIFE く命の大切さから育くむ責任感事業
 - 11月

ひとづくり委員会

本年度、ひとづくり委員会では青少年(小学校4年生)に向けて、わんLIFE Eという「命の大切さから育む責任感」というテーマを掲げ1年間邁進致しました。心の授業とは大変難しかったけれど、この授業は読み書きだけでは学べないといった事業を行いました。

その手法として、動物の命(奪われる命) 殺処分現状や、福岡県では前例のない学校主体として保健所見学をして、過去に犬たちが処分されていた場所を子ども達が歩き、保護されている犬達を見た子ども達が、何を感ず、何を学べたのかを課題に取り組み、日本レスキュー協会では、殺処分の順番を待っていた犬の龍馬、希に求めてもらい、子ども達とふれあいや災害救助体験を受けた。

最終の交流会にて保護者の方と受けてきた授業を振り返り共有・共感していただき、4回に渡る事業を終えた子ども達は、今までと違う感情・行動・発言すべて大きな進化を成し遂げた結果、近い将来この子ども達がこの地域に必ず必要な担い手へと成長してくれることを信じています。

総務広報渉外委員会

本年度、私達は飯塚J.C.の運動に目を向ける人を増やし、想いに共感すること多くの人にファンに成ってもらえるように活動して参りました。
 まず始めに外への発信力を高めるためには内部の意識の向上や情報の共有化が必要であると考える元、内部広報の二環としてLINE@を作成、発信し、LINEスタンプによるメンバー内のコミュニケーションの向上を進めて参りました。その結果、内部・外部問わず色々な方々にご利用頂けるものとなりました。次に外部広報としてRIPPLE魅力溢れるまちづくりスタンプを行いました。事業とホームページ閲覧を絡めることで青年会議所がどんなことをやっている団体かを知っていただくきっかけ作りを行い、また参加して頂いた方々には「自分たちの住むまちの魅力を見つめなおす。」というきっかけを作れたと思います。
 最後に、年4回の総会を実施し、多くの失敗と反省を重ねましたが、適切かつ厳正な総会運営を執り行いました。



▲ 総会運営



▲ RIPPLE~魅力溢れるまちづくりスタンプ~イオン穂波店にてイラスト作成



▲ 飯塚J.Cスタンプ



▲ 総選挙上位3作品

《一年間の活動》

- 1月 1月通常総会
- 3月 LINE@始めました (内部広報)
- 4月 LINEスタンプ作成
- 5月 飯塚J.C LINEスタンプ完成
- 6月 6月臨時総会
- 8月 8月臨時総会
- 9月 RIPPLE
- 10月 魅力溢れるまちづくりスタンプ
- 11月 11月通常総会
- 12月 2017年度「大忘年会」開催

例会委員会

今年の例会委員会ではメンバー間の交流を重視しながらも、個人・全体の成長を促せるようなアワーを委員会で作成企画・運営を行ってまいりました。また例会への参加者が減少している事も考え、少しでも向上出来るよう藤原理事長の促しのもと、役員メンバー全体で協力しあいメンバーへの参加呼び掛けを行った結果、出席率向上へと繋がりました。藤原理事長を始めとする役員メンバーの皆様には力添えを頂き大変感謝しております。また今年一年間共に切磋琢磨しながら例会を作り上げて頂いたメンバーの皆様、有難うございました。



▲ 5月例会 スポーツチャンバラ委員会対抗にて白熱した戦い!!



▲ 3月例会 ドローン 皆で最新技術に触れました!!



▲ 11月例会 福知山登山 皆で苦難を乗り越え頂上を制覇



▲ 8月例会 マリエラクルーズで家族例会 多くの御家族と博多湾 ナイトクルージングへ

《一年間の活動》

- 1月 「例会とは」
- 2月 「第2エリア合同例会」
- 3月 「ドローンから学ぶビジネス展開」
- 4月 「マインドフルネスヨガ」
- 5月 「スポーツチャンバラ」
- 6月 「経済新聞」物事を判断する力を養う」
- 7月 「パンデミック」
- 8月 「世界を救え」
- 9月 「家族例会」
- 10月 「マリエラクルーズ」
- 11月 「和食・日本人の伝統的な食文化」
- 12月 「ワーク・ライフバランス」
- 忘年会 「結束例会」福智山登山

六十五周年準備特別室

アカデミーメンバーが成長することをテーマに1年間の活動を行ってまいりました。1年間の活動を通じてアカデミーメンバーには様々な経験や体験をしてもらうことをとおして、J.C.の楽しさであり、苦しみ、そして意義を感じていただき、J.A.Y.C.EEとして成長をしていただけたのではないかと考えています。
 当室の担いの台東国際青年商会との交流にしましては、28名のメンバーを飯塚にお迎えし、様々な経験や交流を通じて、今まで以上の関係の深化に繋がることのできたと考えております。

また、アカデミー事業では、人口流出を防ぐことを目的に、子ども大学体験スクール、地域で発見！デザート市、仮想婚活と3つのイベントを同時開催し、目的達成に向けてアカデミーメンバーを中心に活動を行うことで、アカデミーメンバーの1年間の集大成として、大きな成果を出すことができたと考えています。

会員拡大支援特別室

会員拡大支援特別室は、名前の通りに会員拡大に伴う活動に対し様々な場面や勧誘に関しての支援を行う室でした。
 当初、藤原理事長よりご提案いただきメンバー全員をJ.C.歴の長いメンバーや役職経験者を筆頭に3人1組の班分けをさせていただき、1班1名の会員拡大を目標とし、全体的には33人の会員拡大を目指して活動してまいりました。結果としては、新入会員17名が新たに飯塚青年会議所の門を叩いていただきました。
 目標達成とはいきませんでした。委員会の垣根を超えてメンバー同士の交流も生まれたのではないかと感じています。

最後に、会員拡大に対し多くの先輩方や現役メンバーの皆様、そして唯一の室メンバーの清水副室長、一年間ご協力いただきありがとうございました。



▲ 婚活事業も全力で!!



▲ 大勢のお客様を迎えてのデザート市



▲ 参加者に地域の大学の魅力を感じて貰うサイエンススクール開催



▲ 台東JCも全力でもてなし、楽しんでもらいました

《一年間の活動》

- 1月 メンバーの交流を深める為に、糸島遠征
- 2月 台東JC来飯に向けての打合せ開始
- 3月 アカデミー事業に向けての過去のアカデミー事業の勉強
- 4月 アカデミー事業の目的と手法を精査
- 5月 アカデミー事業の目的と手法を精査
- 6月 アカデミー講義を再度繰り返しアカデミー講義を再度繰り返し
- 7月 台東米飯計画が大詰め
- 8月 台東米飯、まずは1つ目の事業
- 9月 アカデミー事業開催
- 10月 全てはこの時の為に…
- 11月 様々な委員会事業のお手伝い
- 12月 最後の報告…



▲ 4月例会にて準会員紹介



▲ 2月合同例会にて準会員紹介



▲ 2017年度初の正会員承認式



▲ 5月は多くの仲間が増えました



▲ 家族例会にて正会員承認式



▲ 正会員になった意気込みをスピーチ



▲ 9月例会にて正会員承認式



総括

一般社団法人飯塚青年会議所 第六十四代理事長 藤原 昌直

私が本年、理事長職を拝命するにあたり第一に考えたことは、地域の問題点を提起し解決を目指すことではなく、なにか一つでも突出した地域の創出を目指すことでした。

そのために必要なものを考えた時、観光名所や特産品など形あるもの、いわゆるハードの部分も、それを達成するためにはもちろん必要ですが、我々「青年会議所」が、意識変革団体としての役割を果たし、市民意識の変革から地域の浮揚を目指すというソフト面からのチャレンジこそ最も我々に求められている行動であると感じ、一年間の歩みを進めてまいりました。

前述しました目的を達成するために本年度は「進化」意識の変革こそが地域を変える」というスローガンのもと2特別室の委員会を二年を通して様々な取り組みに挑戦し、各室長・委員長のリーダーシップのもと全メンバー丸となり、すべての事業に素晴らしい結果を残すことができたことを確信しております。

これは、この地域を一步でも前に推し進めたいという強い思いをメンバー全員が心底に抱き真摯に取り組んできた賜物であります。仲間とともに行動できる喜び

の中から地域に対する自らの意識が変わっていくことをそれぞれが感じることのできた一年であったことはもちろんのこと、地域の皆様も自らの住み暮らす地域や、日頃から何気なく接していたものに対する意識の変革にも間違いなく寄与できた一年であったと確信いたします。

結びに、一年間この理事長という重責を担うにあたり、正直なところ当初は期待よりも不安の方が多かったのは事実でありました。しかし多くの方の支えと信じてともに活動してくれる仲間の存在こそがこの一年を突き進むことができた原動力であり、飯塚青年会議所が64年もの長い歴史を紡いでこられた礎であるのではないかと感じることも、この感覚こそが飯塚青年会議所の進化の歴史であると感じ、この所感を纏めるにあたりあらためて感じております。64年目の我々の運動はこれにて終わりを迎えます。しかし来る65年目にはもつすでに始まりを迎えさらなる飛躍の年となることを祈念いたしまして私の所感とさせていただきます。一年間、本当に有難うございました。

一年間の出来事



1月 新春祝賀会



1月 京都会議



2月 米2エリア合同例会



4月 サッカー部 九州大会優勝



4月 野球部 米2エリア大会優勝



5月 福岡ブロック大会 in うきは



7月 創立記念



7月 サマーコンファレンス



8月 九州地区大会 in 久留米



9月 台東青年商会友好訪問



9月 全国大会 in 埼玉



11月 ゴルフ部じゃがいも会 卒業コンペ



12月 大忘年会

六十四年目の軌跡

2017年度 理事長総括

2017年度 活動報告

JCI Junior Chamber International IIZUKA

意識の変革こそが 地域を変える。